

「さいたま市総合振興計画審議会 第3部会」意見整理表

資料2-2

《交流・コミュニティの分野》

施策1：人権尊重社会の実現

整理 番号	意見の概要	修正案
1	男女共同参画社会の実現には、ワークライフバランスの視点を取り入れてはどうか。	ご意見を踏まえ、4. 施策展開(2)男女共同参画社会の実現の1つ目の・の「家庭や社会における男女の共同参画を進めるため」を「 <u>仕事や家庭生活、地域活動など様々な場における男女の共同参画を進めるため</u> 」に修正します。

施策2：ふれあいのある地域社会の形成と活性化

整理 番号	意見の概要	修正案
1	さいたま都民と言われる都への通勤・通学している市民の地域への愛着心を育てることが課題である。	ご意見を踏まえ、1. 現状と課題の4つ目の・に、 <u>地域への愛着心や誇りをはぐくみ、</u> を加筆し修正します。
2	地域の人が新しいことをやりづらい雰囲気があると感じる。自治会とNPOでより良くしていければよく、地域に新たな人や若い人が関わるきっかけとしてNPOからというのも一つの視点。	ご意見を踏まえ、4. 施策展開(2)地域住民等の自主的活動の促進に、 <u>・地域における様々な活動を通じて、住民や団体のつながりを高め合い、互いを支え合える地域づくりに取り組みます。</u> を追加します。
3	NPOは何かに特化した組織であるが、自治会はすべてに関係して、目立たないが、縁の下の力持ちとして活動しているので、相容れないところもある。	
4	自助に加え、共に助け合う、支え合うという共助の雰囲気を出せたらよい。また、公助として行政も関わり、地域人材の発掘・育成をしなければ、地域の活性化はなかなか難しい。	

施策3:多文化共生・世界に開かれた都市づくり

整理 番号	意見の概要	修正案
1	自然や盆栽などの地域資源を守っていくための施策が必要である。	ご意見を踏まえ、4. 施策展開(1)国内外との多様な交流機会の充実の2つ目の・を、自然、サッカー、盆栽、漫画、人形など、多彩な地域資源を <u>守り育てながら</u> 、と加筆し修正します。
2	「世界に開かれた都市」を謳うからには、もう少し世界観について記述してもよいのではないか。	ご意見を踏まえ、1. 現状と課題の2つ目の・の一部を削除したうえで、「さらに、これまで姉妹・友好都市をはじめとする海外の都市との交流や国際協力、盆栽など文化の発信、国際会議やスポーツイベントの誘致などに取り組んできましたが、 <u>今後も積極的に国際化施策を進め、経済の活性化など、都市の活力の向上につなげていく必要があります</u> 」を追加します。
3	多様な交流とあるが、さいたま市の文化的な資産・財産が明確に見えていれば、他国との交流ができる。	
4	「ボランティア団体等の支援の充実」とあるが、外国籍の方を支援するには、民間企業の力を使って、マーケットベースで回っていけばよいこともある。	ご意見を踏まえ、4. 施策展開(2)国際化の推進と多文化共生社会の実現の2つ目の・にある「ボランティア団体等」を「 <u>関連団体等</u> 」に修正します。
5	外国人の生活者としての安全確保と、生活を支えるという支援を盛り込んだ方がよい。	ご意見を踏まえ、4. 施策展開(2)国際化の推進と多文化共生社会の実現の2つ目の・に、外国人市民も <u>安全で安心して暮らすとともに</u> 、を加筆し修正します。

◎「成果目標」に関して調整部会において検討とするもの

	意見概要
施策 1	成果指標「男女の地位が平等と感じる市民の割合」について、目標値はもっと高く設定してもよい。
施策 1	成果指標「男女の地位が平等と感じる市民の割合」の現状値について、男女別に示し、目標値についても男女別にするかどうか検討すべき。
施策 1	成果指標「人権が尊重されていると感じている市民の割合」について、人権とは何か伝わっていなければアンケート結果は高くなる可能性があり、必ずしも現実を表しているとは言えないのではないか。
施策 1	DVに関する調査結果などを活用しながら、DVに関する指標も盛り込んではどうか。

施策 3	成果指標「外国人の受入体制が整っていると感じる市民の割合」については、市民アンケートではなく、サービスの客体である外国人市民に聞いた方が的確ではないか。
施策 3	市として、市に在住する外国人の方々を積極的に活用したいのか、共に生活できるレベルを目指すのか、どう考えているかで成果指標の設定が変わってくる。
施策 全般	各施策の構成について、「施策展開」の後にそれぞれ対応する「成果目標」がある並び順の方がわかりやすいのではないか。
施策 全般	施策展開と成果指標が対応するように、成果目標の数を合わせてはどうか。

◎「（仮称）皆さんも取り組んでみませんか？」に関して調整部会において検討とするもの

	意見概要
施策 全般	「（仮称）皆さんも取り組んでみませんか」を呼びかけているのは、審議会あるいは議会なのか、主体を明確にした方がよい。
施策 全般	「（仮称）皆さんも取り組んでみませんか」とタイトル部分に、共助のニュアンスを加えられたらよい。

◎「重点戦略」の検討の際に参考とするもの

	意見概要
施策 1	男女共同参画社会の実現には、ワークライフバランスの視点を取り入れてはどうか。【再掲】
施策 2	中高年の拠り所づくりと地域活動を結び付け、活性化することが必要ではないか。
施策 2	サロンのような小さな集まりを持つことやシルバー世代の活用、シャッター通りの活用、大学等と連携した居場所づくりなど、市民ワークショップの意見も参考にしてほしい。

◎「都市づくりの進め方」の検討の際に参考とするもの

	意見概要
施策全般	「協働」という言葉は本計画のキーワードであるので、交流・コミュニティの分野でも使った方が良い。

◎「次期実施計画」策定の検討や事業実施の際に参考とするもの

	意見概要
施策1	家庭や地域、企業、行政における性別役割分担意識はいまだ根強いため、市役所が率先して行動し、地域にPRしてほしい。
施策2	自治会への支援については、行政は、人を出さずに補助金を出すという姿勢があるが、手続きが煩雑であるにもかかわらず、補助金の額は労力に見合うものではない。
施策2	公民館をコンピュータ上で予約する際、地域住民を優先すべきである。また、公民館長に、その地域に関わりがない人になることはいかがなものか。
施策3	学校教育における国際理解教育のためには、専門的な知識を持った人がいなければ難しいので、計画に記載するからには、そのための人材などを確保する必要がある。